

## 米国銀行株式の市場動向 ～年初来で大きく反発～

2018年第4四半期(9月末～12月末)は、米国の景気減速懸念等を背景に米国株式市場全体が下落した中、特に銀行の業績に対して悪影響がおよぶのではないかと懸念につながり、銀行株式が大きく下落しました。

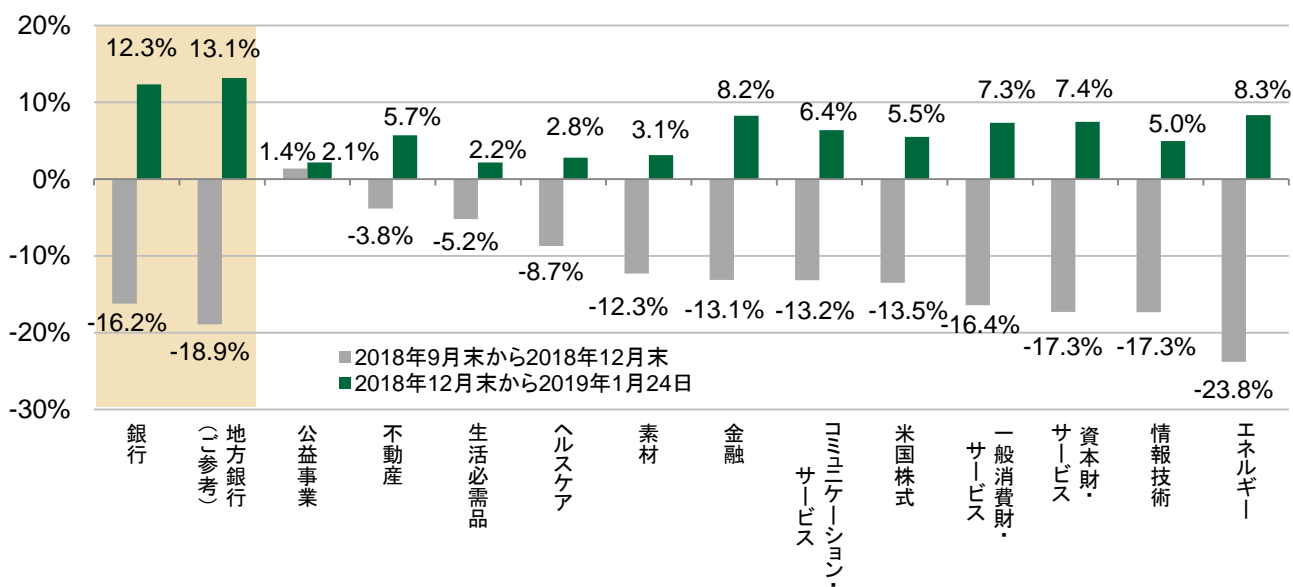
一方、2019年に入り、多くの銀行で予想を上回る良好な決算(2018年第4四半期)が発表され、市場でも強気な見方が回復しつつあることなどから、銀行株式は堅調なパフォーマンスとなっています。

当社では、米国経済の成長率鈍化はあり得るとしても、米国の景気後退が短期的に起きる可能性は小さいと見ております。また、地方銀行の経営陣との面談において、多くの経営陣から米国経済の現環境をポジティブに受け止めていることが確認できています。したがって、2019年も、米国の経済成長に伴い、銀行の貸出残高は底堅く伸びると予想しています。また、銀行の利ざや収入の改善、コスト削減が続くことで、銀行の利益は底堅く成長すると予想しています。

米国銀行株式の2018年12月末現在のPBR(株価純資産倍率)は1.1倍と、過去平均(1990年12月末から2018年12月末)の1.7倍と比較して魅力的な水準にあります。銀行業界を取り巻く環境は依然として良好で、米国銀行株式について長期的な成長が期待できるとの見方に変更はありません。今後は、業績が堅調で魅力的なバリュエーションの銀行に注目が集まると考えられることから、より一層個別銘柄の分析が重要になっていくと考えられます。

※米国銀行株式のPBRはS&P500銀行株指数(米ドルベース)、ブルームバーグより取得

米国株式:業種別騰落率(配当込み)



米国株式: S&P500種指数、米国株式各業種: S&P500業種別指数、銀行: S&P500銀行株指数、地方銀行: S&P総合1500地方銀行株指数  
出所: ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成。

※当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。「ご留意いただきたい事項」を必ずご覧下さい。

## 米国銀行株式のPBRの推移



米国銀行株式: S&P500銀行株指数(米ドルベース)

出所:ブルームバーグのデータをもとにマニライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

**【ご留意いただきたい事項】**

- 当資料は、マニライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があります、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニライフ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会